

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第 15 回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和 7 年 2 月 5 日 (水) 13 : 30 ～ 15 : 45				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A 棟 5 階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員 (部会長：志村 陽子)				<敬称略>
	福田 美和	山内 京子	棧敷 洋子	小池 美津代	生駒 友一
	北畠 拓也	蛭子 明子	栗田 修平	西條 由美子	石塚 由江
	事務局：馬場 聡子、秋山 仁志、檜山 咲紀、上玉利 芳綱				

1 連絡・確認事項

(1) 司会・書記の確認 (司会:生駒委員、書記：事務局)

(2) 参加者・配布資料の確認

欠席者 名川委員、一色委員、近藤委員、窪田委員

(3) 大田区自立支援協議会運営会議の報告

ア 1 月 14 日に第 12 回運営会議を行った。各専門部会からの報告、協議会日より、来年度の自立支援協議会に向けて話合った。

次の任期は部会を超えた共通理念を掲げたらどうか、と話している。今後も話し合っていく予定。

イ 2 月 4 日に第 13 回運営会議を行った。各専門部会からの報告、第 3 回本会について、来年度の自立支援協議会に向けて話合った。

本会の報告発表について、令和 5 年度に行った中間報告と同様に同じ部会でグループを作成し発表を行う。発表方法は部会長のみが話すのではなく、部会内で工夫してくださいとのこと。発表後のグループワークについて、同じ部会同士でグループを作るのか、3 部会が入り混じったグループもどうか、という意見が出ている。

来年度の自立支援協議会について、11 月に行った意思決定支援の研修が好評だったため、意思決定支援が共通理念として挙がっている。7 月ごろに合同部会を行い、テーマの提案がある。名川会長から各部会に対して、こうした方がいいのではないかというアドバイスをしてもらう。9 月ごろから各部会がスタート予定。

2 前回の振り返り

(1) 第 14 回専門部会の議事録の確認

(2) ご意見カードの確認

・ご意見カードの意見は大事だと改めて思った。分からなければ専門家等呼んで勉強してもいいと思う。

・自分の自宅が安全かどうかの確認について、消防としては火災予防週間時に高齢者の自宅 1 件 1 件訪問し、どのように暮らしているか見ている。構造的なことは言えないが、棚等の耐震化がなっているかは分かる範囲で言っている。区に助成金がある。地元の消防署に相談すると家の中を見てもらえる。

・水害時は出張所に相談してみてもいいかも。今後の防災会議でも伝えていく。

・支援者が見つからない人にとって、どうしたらいいかを部会内で考えていきたい。

- ・次年度以降、避難計画を当事者目線で作れるようにしていきたいと考えている。
- ・行政がすべて担うのは難しいので、町会や理解がない方に理解してもらえることが大事。行政と連携して行う。
- ・部会に参加している方はある程度どこかの組織と繋がっているが、区内には全く繋がっていない方も多くいる。繋がっていない方が大田区で安心して暮らしていけるまちにするにはどうしたらいいかを部会内で話していきたい。

3 議題

(1) 報告書作成について

ア 内容の確認について

- ・名簿の名前と所属に間違いがないが確認をお願いします。
- ・本会当日発表する6枚のスライドは時系列で載せている。スライド2のまちあるきは北畠委員に作成をお願いした。今回は志茂田地域について作成した。手軽に出来るものは何だろうと考えた時にこれが出来た。
- ・作成前に歩いた人の意見を聞いた。二次元コードを読むとグーグルマップに飛ぶ。マップ上にプロットし、情報を載せておくこともできるが、今はマップが出てくるだけになっている。
- ・手話通訳者はモザイクかけたほうがいいのでは？
→モザイクを入れ、個人が特定出来ないよう編集する。
- ・出典にグーグルマップを記載したほうがいい。
- ・マップ作製すごくいい試みだと思った。自分の地域を見ておきたい。きっかけがないと見ないので、町会や民生委員に連絡し、至る所に置いてあると災害時に活用できるのでは？そういう働きかけを部会で出来たらいいなと思う。
- ・あんしんのところで権利擁護と記載あるが、差別、虐待等いろいろあるが、最近まちの皆様が理解あるな、見守ってくれているなど感じる。それを区民の皆様に理解してもらえるために、この部会がどう活動していけばいいのか来年度以降も活動していきたい。
- ・アウトリーチで総合防災訓練に参加し、部会の紹介できていたが、総合防災訓練以外に区の活動で部会が参加できるものはないか？花いっぱい運動に合わせてまちあるきできないか？
- ・私たちはこんな人ですよというパンフレットを作ってもいいのでは？協議会を紹介するために協議会だよりを平成24年から作成しているが、防災・あんしん部会を紹介する何かを作ってもいいのでは？自己紹介リーフレットとかどうだろう。

イ 本会の報告方法

- ・各部会質疑含めて15分で行う。委員5人でスライド6枚を発表する。
- ・スライド1は山内委員、スライド2のまちあるきは福田委員、スライド3、4のあんしんカフェは蛭子委員、スライド5、6は志村部会長が行う。一色委員は本会当日に別会議があるため欠席かもしれないが、来ることが出来たらスライド6を一色委員に願います。
- ・1スライド2分程度で話していただく。発表後、グループワークになる。

(2) 令和5.6年度のまとめ

- ・今回のみ委員として初めて参加した。多くの分野の方がいて、区民、母親、知的障がい支援者として何ができるか考えながら参加してきた。多くの方に知ってもらうことがいかに大切かと感じた。出来る範囲で各々がやっていく。一方的に伝えるのではなく、ちゃんと伝わっているのかの確認も必要。
- ・今年2年目になり、以前の担当者から話は聞いていたが、情報交換が出来てよかった。まちあるきができてよかった。自分では気づかないことが気づけた。
- ・のみ委員として長いが、多くの方がいて見識が広がった。
- ・自分以外の障がいの方の意見を聞けることがよかった。
- ・かなり長くお世話になっているが、みんなに知らせることが疎かになっていると思っている。皆様と顔を合わせてお話しできることが勉強になった。
- ・2年間お世話になった。宇田尻委員から引き継ぎ、周りが見えないため物言わない障がい者とされるが、部会内では意見を言いなさいと言われるので、言っているのだと感じた。それが自分の力になった。それが視覚障がい者の中に広がっていったらいいと思う。次年度は代表ではなくなるが、のみ委員として部会には残りたいと思っている。
- ・4年目になる。同じ趣味嗜好を持った人たちと話してばかりだが、部会で多くの方と話したりできたりできてよかった。
- ・2年間お世話になった。特別扱いではなく普通に、皆自然に付き合ってもらいたいという意見、本当にその通りだと思う。そういう大田区になって欲しい。
- ・長くお世話になっている。毎年新しい方が入り、いつも気づきが多い部会だったと思う。区の総合防災訓練がこども対象になり参加できなかったが、来年度は障がい者も対象になるとのことなので参加したい。オブザーバーの参加も広がればいいと思う。自己紹介リーフレットも期待している。
- ・防災部会を作るときに、危機管理課の人に来てもらい参加してもらった。その時に総合防災訓練を紹介してもらった。
- ・社会福祉士会としても広げていきたい。
- ・当事者の方がいるというのがこの部会の強み。防災会議に長く参加してきて、今回表彰されることになった。この部会あってのこと。ここがあんしんカフェの大本。知っていくことを喜びと感じられるように。2年間ありがとうございました。

4 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

- ・志村部会長より

『犯罪と向き合う7人の物語』

おおた TS ネット拡大定例会第20弾

日 時 2025年2月23日(日) 18時30分～20時30分

会 場 大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室

参加費 無料

定 員 会場90名、Zoom100名

- ・生駒委員より

『大災害、そのとき。外国人の隣人たちとどう乗り越える?』

おおた社会福祉士会2月拡大定例会

日 時 2025 年 2 月 19 日（水）19 時～21 時（18 時 30 分開場）

会 場 大田区消費者生活センター大集会室&Zoom（Web 会議システム）

ゲストスピーカー ラーオスンタラー アンパン氏

（東京科学大学 教育研究組織 環境・社会理工学院 研究員）

定 員 会場 90 名、Zoom100 名

・事務局より

ヘルプカードについて、久が原にある児童発達支援の事業所（放デイ）から、災害時に備えて通所している児童分のヘルプカードを保管しておきたいと連絡があった。区のホームページからダウンロードできると伝える予定。

（2）ご意見カード記入

※次回の日程

本会：令和 7 年 3 月 3 日（月）14 時～16 時 さぼーとぴあ A 棟 5 階多目的室